

令和5年度第10回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和6年1月9日（火）13：30～14：20 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、
須戸環境科学研究院長、山根先端工学研究院長、森下人間文化学研究院長、
古株人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、
市川人間文化学部長、伊丹人間看護学部長、澤野事務局次長
遠山委員、森委員、矢吹委員

事務局： 山田総務課長、高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、
郡田教務課長、山中地域連携・研究支援課長、堀江高等専門学校開設準備室長、
前田課長補佐、高谷主査

第9回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、原案のとおり承認された。

議事に先立ち、井手理事長より令和6年能登半島地震の犠牲者への哀悼の意が表され、被災者ならびにその関係者へのお見舞いの言葉があった。

また、急きょ追加した報告事項として、川分学生・就職支援課長より、資料に基づき被災地域出身の学生に対する安否確認の状況説明があり、万一、授業の欠席が続き、連絡がとれない学生がいた場合は、学生・就職支援課まで連絡してほしい旨の要請があった。

議 題

報告事項

- 1 環境科学部長の予定者について
井手理事長から資料に基づき報告があった。
- 2 令和6年度学校推薦型選抜等特別選抜試験の合格状況について
郡田教務課長から共通テストを課さない特別選抜試験の合格状況について、資料に基づき報告があった。
- 3 学生の退学・休学・復学について
小泉教育・学生支援担当理事から資料に基づき報告があった。
- 4 各委員会等の結果の概要について
 - (1) 令和5年度第3回コンプライアンス委員会
 - (2) 令和5年度第9回衛生委員会
 - (3) 令和5年度第2回人権問題委員会
 - (4) 令和5年度第2回広報戦略委員会

- (5) 令和5年度第2回学生支援委員会
- (6) 令和5年度第3回教務委員会
- (7) 令和5年度第6回国際交流委員会
- (8) 令和5年度第5回入学試験委員会
- (9) 令和5年度第2回図書情報センター運営委員会

[主な意見・質疑等]

- ・衛生委員会で実施する救命講習に関し、教職員向けだけではなく、学生を対象とした救命講習も実施してはどうか。
- ・人権問題委員会で議論のあったハラスメント相談体制について、常設のハラスメント相談室の設置を検討中とのことだが、どのようなものか。
→検討中であるが、専門の相談員を配置し、いつでも相談できる場所を設ける予定である。また、現在の学内相談員が当該専門相談員と連携して、現実的な対応や解決を行う体制を考えている。相談室によっても対応できない事案や認定が必要な事案については、人権問題委員会で対処することになる。
- ・国際交流委員会で報告のあった令和5年度第2期交換留学以降の選考基準に関連して、12月15日時点の留学の応募状況を教えてほしい。また、海外に留学をする学生は年間どれほどいるのか。滋賀県立大学から世界で活躍する人材が多く出てほしいと思っている。
→12月15日時点の応募人数については確認して回答する。コロナ等の影響で人数にばらつきはあるが、海外に留学している学生は年間およそ60名である。受入れ留学生については、50～60名程度である。